

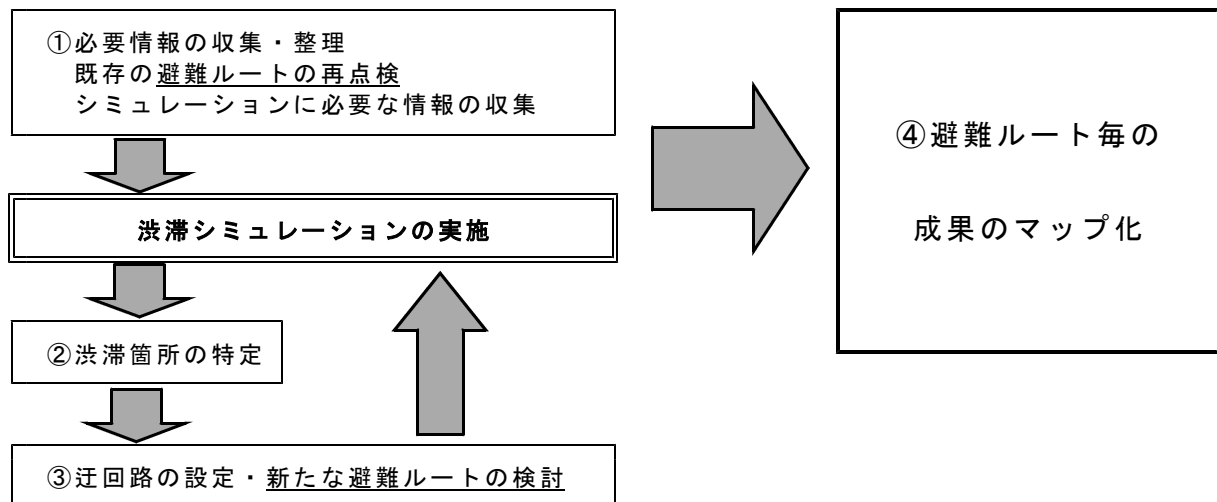
避難方策の具体化について

1 取組方針

第2回検討会でご了解いただいた取組方針は以下のとおり。

- 避難ルートの再点検（道路幅員の確認、問題点の洗い出し）
- 追加できる避難道路の具体化（広域農道や市町村道等で改良済みの路線等）
- 渋滞シミュレーションの実施

2 取組（案）の概要



3 具体的事業内容（案）

■ 第1段階

○住民アンケートによる住民意向調査

避難時の交通量の把握や必要なバスの台数を把握するため、避難時の移動手段（自家用車、行政等が手配したバス）、自動車の利用実態（1人1台、一家で1台、近所と乗合せなど）等について、13市町村を対象に実施する。

※一定の行政区等で抽出調査

○既存の避難ルートに関する必要なデータの収集

- ・道路情報（交通容量、車線と路肩の幅、区間内で最も幅が狭い区間など）
- ・交差点情報（流入部及び流出部の車線数と利用構成、信号情報など）

■ 第2段階

○シミュレーションの実施

シミュレーションを実施し、渋滞発生箇所のデータベース化を行う。

○避難時間推計の実施

避難方法（段階的避難と一斉避難など）等の条件を変えて、シミュレーションを実施することにより、段階的避難の効果を検証する。

■第3段階

○渋滞発生箇所毎の回避方法の検討

渋滞発生箇所毎に回避するための迂回路を選定する。

○新たな避難ルート検討

上記渋滞発生を抑制する新たな避難ルートが設定可能か検討する。

■第4段階

○シミュレーション結果のとりまとめ・公表

避難ルート毎の成果をマップ化（渋滞箇所、迂回路、狭隘箇所、待避場所、休憩所などの情報をマップ上に掲載）し、関係者（行政機関）向け冊子及びHP（ポータルサイト）公開用の素材を作成する。

4 シミュレーションの条件設定（案）

（1）想定人口

現況、将来（事故前と同程度に住民が帰還した想定）

（2）事故の想定

1 F、2 F 両方で事故が発生、1 F で事故が発生、2 F で事故が発生

（3）避難指示範囲

P A Z、U P Z 全域及び一部（北方向、南方向、西方向）

（4）避難のタイミング

一斉避難、段階的避難

（5）その他（避難時間帯、自家用車利用率など）

5 実施スケジュール（案）

実施項目\期間（月）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 住民アンケートによる住民意向調査	■	■	■									
2 既存の避難ルートの再点検		■	■	■								
3 渋滞シミュレーションの実施		■	■	■	■	■	■	■				
4 避難時間推計の実施		■	■	■	■	■	■	■				
5 渋滞発生の回避方法の検討						■	■	■				
6 関係者（行政機関）向け冊子の制作									■			
7 公開用HPの制作									■			

6 関係機関への協力依頼事項（予定）

協議内容	想定される協議・協力機関
住民アンケートの対象設定	市町村
道路情報の提供	道路管理者
交差点情報の提供	警察本部等
シミュレーションの条件設定に必要な情報 （人口、避難指示の範囲など）	市町村等
迂回路の設定に係る協議	道路管理者、市町村等
新たな避難ルート設定に係る協議	道路管理者、市町村等

7 渋滞シミュレーションの成果物イメージ

広域避難ルート（浪江町→二本松市） 国道114号→県道62号線→国道349号→国道459号

